

# 図書館だより 6月号

雨の日は、図書館へ。  
ワクワクする新刊が入っています。



平成28年6月  
大洲農業高校図書委員会

## 図書の出張貸出を行いました！

6月7日（月）～10日（金）、「朝の読書」が始まる前に、  
3年生の教室前で「図書の出張貸出」を行いました。

図書委員おすすめの本を囲んで、話が弾みました。

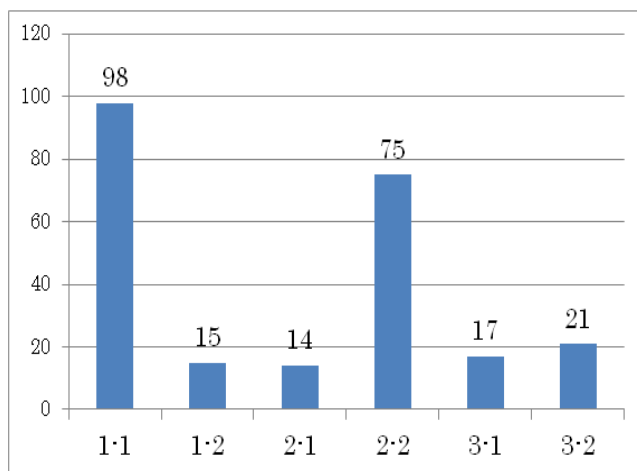
6月20日（月）～24日（金）は、2年生の教室前で  
実施予定です。

図書館の本を手軽に借りられるこの機会に、いつもと違  
う1冊と出会って、「朝の読書」の時間を楽しんでもらえ  
れば、と思います。



## 5月（5/2～5/31）の図書の貸し出し 合計240冊

クラス別貸出冊数



個人別貸出冊数

順位	年組	氏名	冊数
1	1-1	森本 愛実	80
2	2-2	光長 愛	23
	2-2	村上 真帆	23
3	2-1	佐々木千晴	12
4	2-2	川本 華織	11
	3-2	井上史央里	11
5	1-1	福積 怜菜	10
	1-2	山本 日菜	10
6	2-2	濱田 夏希	9
	3-1	廣岡 樹	9
7	1-1	橋本はるか	8
8	2-2	二宮 有哉	6
9	3-1	荒木 祥吾	5

## 本のことば

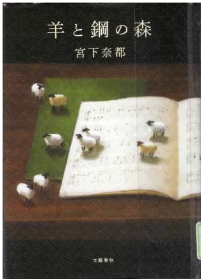
あきらめる勇気があったんだ。  
続ける恐怖なんてきっと乗り越えられる。

『タスキメシ』額賀滯（小学館）



## 本屋大賞受賞作品

「全国の書店員が選んだ、いちばん売りたい本！」本屋大賞の受賞作品を特集しています。



『羊と鋼の森』

宮下奈都（文藝春秋）



『世界の果てのこどもたち』

中脇初枝（講談社）



『朝が来る』

辻村深月（文藝春秋）



『永い言い訳』

西川美和（文藝春秋）

## 本の紹介



『君の臍臓を食べたい』住野よる（双葉社）

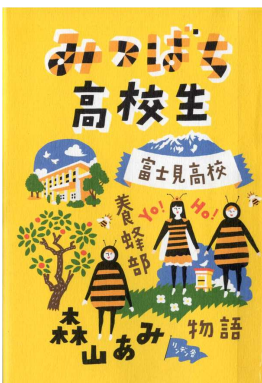
本屋大賞2位に輝きました。

本校図書館でも、「共感する」「せつなくて胸に響く」と人気の本です。「人と関わること」について改めて考えさせられます。タイトルの意味、ぜひ本を読んで味わってみてください。

同じ作者の2作目もあります。こちらもぜひ！

『また、同じ夢を見ていた』

住野よる（双葉社）



『みつばち高校生 富士見高校養蜂部物語』森山あみ（リンデン舎）

長野県富士見高校には、「養蜂部」があります。

「養蜂」とは、ミツバチを飼うこと。この養蜂部のプロジェクト活動が、平成24年日本学校農業クラブ全国大会で日本一に輝きます。その栄冠を勝ち取るまでの、高校生の熱い活動の様子が描かれています。同じく、農業クラブ活動に力を入れている皆さんに、ぜひ読んでもらいたい1冊です。

実は、「大洲農業高校」の名前も出ています。探してみてください。